

1 | 各ブロック活動報告（東京都支部会）

活動内容

会員とその家族向け

クリーンアップ活動と食事会



① 日時

2024年 10月 19日（土）

② 場所

ゴミゼロ活動 ー 新宿中央公園
食事会 ー ザ サクラダイニング トウキョー

③ 参加者

家族を含め149名



④ 内容報告

東京都新宿区にある新宿中央公園にて、ゴミゼロ活動を実施。当日は、10月にもかかわらず30度を超える暑い中、楽しみながらゴミ拾いを行いました。
活動開始前に配布したDC協会ロゴ入りタオルも好評でした。（別紙参照）
その後、食事会場まで、ウォーキングで移動。
食事会は、ビュッフェスタイルで食事、ゲームによる豪華賞品抽選会も実施し、参加者にも喜んでいただけた活動になりました。

1 | 各ブロック活動報告（東京都支部会）

活動内容

DC協会ロゴ入り

ノベルティグッズ製作

① 日時

2024年8月（タオル）、2024年12月（ウォータージャグ）

② 場所

③ 参加者

④ 内容報告

■ タオル

中央に大きくDC協会のロゴを印刷したピンクのタオルを200枚製作。
クリーンアップ活動参加者への参加お礼品として配布。
活動日は暑い日になり、汗ふきに活用でき、ピンク色も好評でした。

■ ウォータージャグ

被災時やアウトドアで役立つウォータージャグ8Lを1,000個製作。
オレンジ、グリーンの2種類作成しました。
昨年度、製作した防災対策7点セットに続き、防災グッズを製作。



1 | 各ブロック活動報告（千葉県支部会）

活動内容

春のゴミゼロ・懇親ボウリング大会

① 日時

2025年5月31日

② 場所

VEGAアサヒボウリングセンター

③ 参加者

ゴミゼロ72名、懇親ボウリング70名

④ 内容報告

2025年5月31日（土）9:40から、京成千葉中央駅側の公園へ集合し、ゴミゼロ活動を実施。
その後、VEGAアサヒボウリングセンターへ移動、ボウリング大会を実施



1 | 各ブロック活動報告（千葉県支部会）

活動内容

千葉ジェッツ観戦チケットプレゼント企画



① 日時

2025年4月26日、27日

② 場所

ららアリーナ東京ベイ

③ 参加者

15ペア 30名

④ 内容報告

千葉に本拠地を置く、バスケットボールチーム『千葉ジェッツ』の観戦チケットプレゼントを実施

1 | 各ブロック活動報告（神奈川県支部会）

活動内容

神奈川地域支部会 ビーチクリーン活動 新江ノ島水族館鑑賞

① 日時

2025年5月24日

② 場所

神奈川県藤沢市 片瀬海岸

③ 参加者

ダスキン100名 サニクリーン40名
リースキン20名

合計160名

(写真貼付)



④ 内容報告

【日時】 2025年5月24日

【場所】 片瀬海岸 クラゲ公園

【内容】 9時30分 受付

9時45分 オリエンテーリング

10時00分 片瀬海岸ビーチクリーンスタート

【協力】 かながわ海岸美化財団



2 | 今後のD C業界における、新しい取り組み（チャレンジ）

発表する内容に○		社会（地域貢献）
	○	親睦による協会のPR活動
		協会として実現したいこと
		その他

■ 発表者	谷村（リースキン）
■ テーマ	D C 協会認知度アップ
■ ブロック会 役員メンバー	（ダスキン）麓・小岩井・関下、（サニクリーン）高橋・加藤 伊澤、（エルゼ）遠藤、（日本エンドレス）田口、 （リースキン）山田・亀井・谷村

2-1 | 今後のDC業界における、新しい取り組み（チャレンジ）

チャレンジすること

- ・DC協会の認知度を向上させるために、会員・非会員（取引先様・お客様）に対しロゴ入りノベルティグッズの配布を拡大していく。
- ・各種イベントへの積極出展、お掃除教室開催を実施し、DC協会をアピールする機会を増やす。

チャレンジするためにやるべきこと

- ・ノベルティグッズに関し、現状は会員向けが中心であったがDC協会の認知度を向上させるには非会員（取引先様・お客様）にも配布を試み認知度アップに繋げる。
- ・地域活性化イベントとして官公庁や商業施設等でのイベント出展による、DC協会の世間への認知度アップを試みる。また会員向けイベントを増加させ会員のDC協会への理解を深める。
- ・小学校でのお掃除教室開催（レンタルモップを活用したお掃除方法・レンタルマット設置での土砂ホコリの制御・トイレのお掃除方法、等）

2-1 | 今後のDC業界における、新しい取り組み（チャレンジ）

協会本部に対する要望

- ・各支部会でのノベルティグッズ製作は発注ロットが少なく割高となるためDC協会としてノベルティグッズを選定し一括購入出来る全国規模での仕組み構築。
- ・DC協会として様々なイベントに参加し認知度を高めて頂きたい。特に子供向けイベント（学校での教育）に注力。
- ・学校イベント実施に向け文科省との連携。報道やマスコミへの対応を希望。

その他

廃棄マット・廃棄モップのリサイクルでなにかチャレンジできないか？

第三者機関でのマット性能評価をアピールする方法を検討